



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社

コード番号 6137 URL <http://www.koikeox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 岡崎 隆

TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,833	△8.1	△162	—	△41	—	△133	—
25年3月期第1四半期	9,611	3.1	△15	—	21	△89.3	285	459.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 386百万円 (△31.9%) 25年3月期第1四半期 567百万円 (115.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.21	—
25年3月期第1四半期	6.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
26年3月期第1四半期	49,960	—	24,827	—	46.5	561.42		
25年3月期	49,355	—	24,704	—	46.9	559.26		

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 23,256百万円 25年3月期 23,167百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	3.0	600	95.4	700	116.7	390	10.5	9.41
通期	42,000	2.2	1,300	13.5	1,500	7.0	850	△16.7	20.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	45,229,332 株	25年3月期	45,229,332 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,805,585 株	25年3月期	3,804,182 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	41,424,208 株	25年3月期1Q	41,876,847 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の景気低迷や新興国経済の減速などがありましたが、米国経済の回復基調に支えられ、総じて緩やかな回復の動きが見られました。

一方、わが国経済は、新政権の経済政策への期待感などから円高や株安からの脱却、企業収益の改善など景気の着実な持ち直しがみられたものの、本格的な実体経済の回復には至らないまま推移しました。

当社グループの主需要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、輸出環境の改善などから一部に回復の動きが見られましたが、設備投資の低迷や中国の鉄鋼生産が高水準で継続したことによる供給過剰などの影響を受けて低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製商品の開発と販売力強化、生産効率の向上、原価低減や経費削減に取り組みましたが、その効果は限定的なものとなりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は88億33百万円（前年同期比8.1%減）、経常損失は41百万円（前年同期は経常利益21百万円）、四半期純損失は1億33百万円（前年同期は四半期純利益2億85百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 機械装置

機械装置部門においては、5月から創業95周年を記念したランド95キャンペーンパートIIを開始するとともに、実演車を活用した全国巡回販売を開始しました。

海外においては、北京エッセンショーに「FIBERGRAPH-2520」と新開発の低価格NC切断機「FLEXIGRAPH」を出展、インドネシアで開催されたMTT Expo 2013とタイで開催されたINTERMACH 2013に「PNC-10」、「MAXIGRAPH」を出展しました。

技術開発面においては、販売を開始したファイバーレーザー切断機の性能向上や、小池グループ共通コントローラーのソフト拡張などを進めました。また、生産面においては、既存製品、部品のコストダウンによる競争力強化に継続して取り組みました。

しかしながら、市況低迷の影響を受け、実績に結びつけることができませんでした。

その結果、売上高は34億41百万円（前年同期比16.9%減）、セグメント損失は1億24百万円（前年同期はセグメント損失41百万円）となりました。

#### 高圧ガス

工業用ガスにおいては、主要顧客の需要が低迷しており、酸素・窒素などのセパレートガスをはじめとした主要ガスの販売量は全般的に低調に推移しました。また、電気料金の上昇や原材料の高騰など工業用ガスにとって厳しい環境のもと、価格改定活動に取り組みましたが、十分な成果をあげることはできませんでした。さらに、新たな営業展開として、ヘリウム液化機に係わる研究機関に対して、周辺ガスの獲得に向けた営業を開始するとともに、国内の炭酸ガス不足を受け、輸入ドライアイスの販売を開始しました。

生産面においては、保安確保のため容器RFタグ（ICタグ）への対応に向け、容器管理システムの更新を実施しました。また、ガス製造工場では製造設備の更新を行い、安定供給、品質確保、原価低減に努めました。

医療分野においては、酸素濃縮器のサービス部門の強化・品質向上に努めるとともに、検査関連の営業強化により「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）の契約件数が増加しました。また、新型「クロモフェアF」（LED无影灯）は評価が高く、積極的に営業展開を図り、好調に推移しました。

その結果、売上高は36億62百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は2億6百万円（同1.3%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、高層ビル、倉庫などの需要に対する建築・鉄骨向けの販売量の増加はありましたが、造船、建設機械、自動車向けは伸び悩み、全体の販売量が減少したため、溶接材料の販売強化を図ることを目的として新潟に流通拠点を設置し、新規販売先の拡大に重点をおいた営業活動を開始しました。

溶接機器においては、溶接機、安全保護具、乾式安全器、溶接関連商品の拡販を図るためグランド95キャンペーンパートⅡを5月から開催し、ユーザー巡回などの販売促進活動を実施しました。また、溶接機の拡販を目的とした各地区展示会を開催するとともに、鋼板の厚板溶接のコストダウンに結びつくサブマージアーク溶接機と溶接材料のセット販売を推進しました。さらに、輸入商品の販売促進のため、ドイツ・ダイヤモンド社を訪問し、同社の金属補修剤の新商品の説明を受け、今後の販売開始にむけた市場調査を行いました。

その結果、売上高は16億39百万円（前年同期比7.7%減）、セグメント利益は4百万円（同75.5%減）となりました。

その他

ガス機器においては、大型ヘリウム液化機の引合いが増加し、大学研究機関から1台受注しました。排ガス処理装置に関しては、国内半導体・液晶メーカーの統廃合が進み、これに合わせて製品の改良を行うとともに、電子部品の製造業界団体に対し、新型排ガス処理装置の販売活動を実施しました。また、上海で開催された国際太陽光展示会に出展しました。

その結果、売上高は89百万円（前年同期比49.0%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失39百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は499億60百万円で、前連結会計年度比6億5百万円の増加となりました。

流動資産合計は296億21百万円で、前連結会計年度末比2億52百万円の増加となりました。これは主にたな卸資産6億99百万円増加によるものです。

固定資産合計は203億38百万円で、前連結会計年度末比3億53百万円の増加となりました。これは主に設備投資による有形固定資産2億14百万円増加によるものです。

## (負債)

流動負債合計は179億19百万円で、前連結会計年度末比3億66百万円の減少となりました。これは主に短期借入金5億27百万円減少によるものです。

固定負債合計は72億13百万円で、前連結会計年度末比8億49百万円の増加となりました。これは主に長期借入金8億77百万円増加によるものです。

## (純資産)

純資産合計は248億27百万円で、前連結会計年度末比1億22百万円の増加となりました。これは主に円安の進行による為替換算調整勘定3億89百万円増加によるものです。

この結果、自己資本比率は46.5%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成25年3月期決算短信」3ページ1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析②次期(平成26年3月期)の見通しを参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,615	9,424
受取手形及び売掛金	12,271	10,888
商品及び製品	4,447	4,844
仕掛品	1,515	1,715
原材料及び貯蔵品	1,788	1,891
その他	957	1,123
貸倒引当金	△227	△266
流動資産合計	29,369	29,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,721	3,704
機械装置及び運搬具(純額)	1,355	1,352
工具、器具及び備品(純額)	530	508
土地	9,132	9,140
リース資産(純額)	654	675
建設仮勘定	244	472
有形固定資産合計	15,638	15,852
無形固定資産		
のれん	360	371
リース資産	13	11
その他	156	154
無形固定資産合計	531	537
投資その他の資産	3,816	3,948
固定資産合計	19,985	20,338
資産合計	49,355	49,960

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,625	9,367
短期借入金	4,036	3,508
1年内返済予定の長期借入金	952	1,208
1年内償還予定の社債	140	90
未払法人税等	366	86
賞与引当金	499	446
役員賞与引当金	64	13
製品保証引当金	23	26
その他	2,577	3,172
流動負債合計	18,286	17,919
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	1,714	2,592
退職給付引当金	262	249
役員退職慰労引当金	231	210
資産除去債務	13	13
その他	4,042	4,047
固定負債合計	6,364	7,213
負債合計	24,650	25,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,882	16,501
自己株式	△909	△909
株主資本合計	22,359	21,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	587	668
土地再評価差額金	1,233	1,233
為替換算調整勘定	△1,012	△622
その他の包括利益累計額合計	808	1,279
少数株主持分	1,536	1,570
純資産合計	24,704	24,827
負債純資産合計	49,355	49,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,611	8,833
売上原価	7,280	6,557
売上総利益	2,331	2,275
販売費及び一般管理費	2,347	2,438
営業損失(△)	△15	△162
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	26	27
受取賃貸料	23	27
物品売却益	7	7
為替差益	14	91
貸倒引当金戻入額	2	10
その他	13	9
営業外収益合計	90	178
営業外費用		
支払利息	27	34
賃貸費用	14	13
その他	10	9
営業外費用合計	52	56
経常利益又は経常損失(△)	21	△41
特別利益		
固定資産売却益	668	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	1
特別利益合計	668	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
減損損失	12	—
その他	0	—
特別損失合計	13	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	676	△40
法人税、住民税及び事業税	306	17
法人税等調整額	58	62
法人税等合計	365	79
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	311	△120
少数株主利益	25	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	285	△133



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	311	△120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	83
為替換算調整勘定	393	423
その他の包括利益合計	256	506
四半期包括利益	567	386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	337
少数株主に係る四半期包括利益	61	48

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,141	3,633	1,776	9,551	60	9,611	—	9,611
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,141	3,633	1,776	9,551	60	9,611	—	9,611
セグメント利益 又は損失(△)	△41	203	20	182	△39	143	△159	△15

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△159百万円には、のれんの償却額△39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△242百万円及びたな卸資産の調整額36百万円、その他の調整額86百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,441	3,662	1,639	8,743	89	8,833	—	8,833
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,441	3,662	1,639	8,743	89	8,833	—	8,833
セグメント利益 又は損失(△)	△124	206	4	87	△1	85	△247	△162

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△247百万円には、のれんの償却額△23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△235百万円及びたな卸資産の調整額△6百万円、その他の調整額18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	273百万円	297百万円
のれんの償却額	39	23

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,312	77.7
高圧ガス (百万円)	98	110.4
報告セグメント計 (百万円)	3,411	78.4
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	3,411	78.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	2,436	69.2	4,505	72.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,441	83.1
高圧ガス (百万円)	3,662	100.8
溶接機材 (百万円)	1,639	92.3
報告セグメント計 (百万円)	8,743	91.5
その他 (百万円)	89	149.0
合計 (百万円)	8,833	91.9

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。